

情報は支局へ

254・9933 FAX 027・252・5321
 0・26・4343 FAX 0270・26・4342
 3・24・4341 FAX 0278・24・3247
 9・22・4341 FAX 0279・24・6444



尾瀬に親しむ講座

27日に玉村

尾瀬の魅力を多くの人に知ってもらおうと、玉村町は27日、同町文化センターで「尾瀬に親しむ講座」を開く。

講師は県自然環境課尾瀬保全推進室の西嶋弘満さん。尾瀬に行く前に知っておくと良いことや尾瀬の四季の姿などを、実体験をもとに話す。

参加費無料。定員は264人。

希望者は当日会場で受け付ける。問い合わせは町生活環境安全課(☎0270・64・7708)へ。

仏像彫刻50体展示

23日から伊勢崎

仏像彫刻を展示する木遊会の第4回作品発表会が23日から25日まで、伊勢崎市中央町の伊勢崎ふくしプラザで開かれる。

小林翔雲さん＝波志江町＝に指導を受けている6人が釈迦如来像や阿彌陀如来像、不動明王像など約50体を展示する。

120-808046へ

「ろうあ者の表現」見て
 26日まで
 県庁 愛好家が写真48点
 耳の不自由な写真愛好家による「フォト・スカイ・デフ・クラブ」(高地など自然や人物、宮崎岸正人代表)の第七回写真展の新作展。県庁の北海道



写真立ての作り方を優しく教えてもらう児童

ポランティア希望者が活動できる場をつくらうと、友の会は県青少年会館の協力で春に結成。八十人の会員が、ぐんま少年の船やキャンプなど四つのグループに分かれて

活動している。ゆめすくーのグループは来年の一月まで、月に一回の教室を開く。五、六年生にパソコン、三、四年生に英語、一、二年生にクラフトを教える。

各教室では五、六人のポランティアが熱心に指導。子供たちは楽しそうに大学生と触れ合いながら、パソコンで自己紹介文や写真立てを作ったほか、ゲームと歌で英語に親しんでいた。

パソコン操作を学んだ

子供たちと楽しく

県青少年会館友の会 パソコンや工作指導

吉岡町の武藤隼君(10)は「字を打つ練習ができた。もっと早く打てるように

なりたい」と目標を話し、ポランティアの鈴木愛子さん(18)は「小学校の先生を目指して勉強している私にとって、小さな子供と触れ合える貴重な機会」と丁寧に工作を教えていた。

前橋

油絵やパステル 田中さんが個展

22日まで前橋

趣味で油絵などに取り組んでいる榛東村新井の主婦、田中稔子さん(65)の個展が二十二日まで、

多くの拍手が送られた「青春アミーゴ」のステージ

六年結成、翌年から演奏会を開いてきた。現在のメンバーは高校生から五十歳代までの約六十人。毎週水曜日の午後八時から、伊勢崎市民プラザで練習に励んでいる。

ポップスなど多彩に

伊勢崎 市民吹奏楽団が定演



伊勢崎市民吹奏楽団(境野智章団長)の第二十六回定期演奏会が十八日、伊勢崎市文化

会館で開かれ、会場を埋めた聴衆が楽しい演奏を堪能した。同吹奏楽団は一九七

を理解してもらえたら、うれしいと話している。

市職員ら27人 側道きれいに 洪川でこみゼロ運動

洪川市のこみゼロ活動が行われ、洪川リサイクル資源組合や同市環境美化推進協議会のメン

ごみは紙くずやプラスチックなどの可燃ごみが三百二十キ、空き缶などの不燃ごみが百七十キ。中にはタイヤや自転車、家電製品なども捨てられていた。

昨年七月の初の個展以来二回目。「見慣れた山や草花を観察していると、今まで気付かなかったことがたくさんある」と田中さん。色彩豊かなコスモス、咲き誇る桜の奥にそびえる富士山など、さまざまな感動を表現した絵画が、見る人の心を和ませている。午前十時～午後六時(最終日は午後三時)。問い合わせ

来場者に作品を説明する田中さん(左)

前橋市大渡町の自遊画廊で開かれている。山のあふれる風景や色とりどりの花を描いた作品など油彩とパステル画計二十七点を展示している。田中さんは十年ほど前から趣味で油絵を始め、自宅周辺から眺める赤城山、旅先で出合った感動